



# 5月園だより

令和5年5月1日  
目黒区立原町保育園園長

桜の季節もあっという間に過ぎ、鮮やかな新緑とともに街に咲いている赤や黄色、白など色とりどりの花に癒され、心が和みます。園の玄関に繋がるスロープや園舎前の花壇にも、用務職員が丹精込めて育てたちゅうりっぷが咲き誇り、朝夕の登降園時には「さいた～さいた～ちゅうりっぷのはなが～」と、かわいい歌声が聞こえていました。園内や園庭には各クラスの子どもたちが作ったかわいらしいこいのぼりが飾られ、あらためて日本の文化や四季のすばらしさを感じます。

4月に入園した子どもたちも新しい環境に少しずつ慣れ、毎日元気に、そして笑顔で保育士と遊ぶ姿が見られ、食事やお昼寝も落ち着きつつあります。送り迎えをされる保護者の方も後ろ髪をひかれる思いから、少しずつ笑顔で出勤され、私たち職員もうれしい気持ちになります。進級した子どもたちは環境の変化で緊張し、朝の登園時に少し涙を浮かべる姿も見られましたが慣れるのも早く、新しい玩具で友達同士楽しんで遊んでいます。4月下旬、天気の良い園庭には複数のクラスの子どもたちが遊んでいました。砂場で落とし穴を作っていたり、フープを電車に見立てて歩いたり、バスマットやケースを組み合わせておうちごっこを楽しんでいます。子どもたちの笑顔や元気に遊ぶ声を聴くと、当たり前前の日常がやっと戻ってきたと嬉しい気持ちになりました。保育園は保育士だけではなく、栄養士、調理師、看護師、用務職員など多様な職種の人と一緒に生活する場です。大きな輪（和）の真ん中にある子どもたちが、毎日元気に笑顔で過ごせるよう保護者の方とともに子育てを共有していきたいと思えます。今月から来月にかけて各クラスの懇談会を予定しています。園での生活の様子や、一年間の保育方針などについてお知らせし、保護者のみなさまと一緒に子どもたちに寄り添う有意義な懇談会にしたいと思えますので、是非ご出席くださるようお願いいたします。

## 懇談会の予定

- 5歳児クラス懇談会
- 1歳児クラス懇談会
- 2歳児クラス懇談会
- 0歳児クラス懇談会

\*懇談会は3階ホールで行います。



## 今月の予定

- 春の定期健診（0.1.2歳児）
- ポニー教室（5歳児）
- 春の定期健診（3.4.5歳児）
- 避難訓練・身体計測

## ～こいのぼりをつくりました～

## 5歳児クラス



みんなで色を考え、赤・青・緑にしました。

どんな色になるか  
楽しみだね。



玄関に一人ひとりが染めた鱗のついた鯉のぼりが泳いでいます。どんな色に染まったか、楽しんでご覧ください。

## 各クラスの様子

入園、進級から1ヶ月が経ち、楽しく遊ぶ姿や進級して大きくなったことを喜んでいきます。  
各クラスの子どもたちの姿をお知らせします。

### かえで組（0歳児クラス）

「おはよう」と声を掛け、抱っこしておもちゃを見せたり歌を歌うと、早速おもちゃに手を伸ばして遊びだしています。時折保育士の顔を確認するように見てはにっこりし「あっ、あっ」と声を上げ、保育士が返事をすると嬉しそうにしています。保育園にも慣れ、一緒に過ごす保育士の顔も覚えてきました。「だっこして」と手を伸ばしたり、声をあげながら目で追ったりと、少しずつ主張を伝えてくれる姿が見られるようになり笑顔で過ごせる時間も増えてきました。ふれあい遊びなどを通して、楽しく関わりながら毎日を安心して過ごせるようにしていきたいと思えます。

### いちよう組（2歳児クラス）

進級することの不安や緊張でドキドキの表情もありますが、心の葛藤や思いを汲み取り受け止めていく中で、少しずつ新しい環境にも慣れてきました。また、部屋が1階から2階に変わり、園庭や散歩に出る際には「おねえさんだから、かいだんでいくんだよね」と憧れていたお兄さんお姉さんと同じ階になったことで、進級した喜びや期待も子どもたちから感じます。子どもたちのできた喜び、見つけた遊びの楽しさに共感する中で、好きな遊びを見つけてじっくりと遊ぶ姿も出てきています。

### ほぶら組（4歳児クラス）

庭の登り棒の頂上まで登った友達を見ている子がいたので、保育士が誘うと「できないもん」と言って頬を膨らませていました。「そっか、でも何回もやってみると上手になって、できるようになるよ」と話すと、頷いて棒にしがみつこうとしていました。保育士が足を支えると少しだけ登れて笑顔になり、その後何回も挑戦していました。繰り返し遊ぶ中でコツを掴み「ここまでできたよ！」と友達や保育士に嬉しそうに知らせています。

友達の姿が刺激になり、保育士が励ますことで新しいことにも取り組んでみる姿が増えていきます。



### くるみ組（1歳児クラス）

くるみ組での生活に慣れてきて、保育士が傍にいて安心して遊びに向かえるようになってきました。穴の空いている容器にチェーンリングを落として保育士の顔を見て「はいったね」と声をかけられると満足そうに微笑みながら、繰り返し楽しんでいきます。また、保育士と一緒にマグネットをたくさんつなげてみたり、ボード一面につけてみたり、色々な玩具を手に取り興味も広がってきています。“できた”と、パチパチと拍手をしながら保育士に知らせています。好きな遊びを見つけながら、新しい環境の中で笑顔がたくさん見られています。

### さくら組（3歳児クラス）

進級して新しい環境にも慣れ「もうできちゃった」と得意気な子どもたちです。お兄さん、お姉さんという気持ちも出てきて、園庭に出ると自分より小さなかえで組を「かわいい」「ちいさいね」と言い、関わろうとする姿も出てきました。砂を器に盛り「ごはんつくったの」と手渡したあと、本当に食べてしまわないか心配そうにじっと見えています。口に入れそうになると「まねっこだよ」と声を掛ける姿がほほえましいです。大きくなった嬉しさを、心と体でたくさん感じられるよう関わっていききたいと思えます。



### くすのき組（5歳児クラス）

保育園で一番年上のクラスになりひと月が経ちました。絞り染めをした残り布で「僕たちのこいのぼりを庭に泳がせよう」「赤ちゃんたち、絶対に喜びよ」と園庭用のこいのぼり作りをしました。赤青緑3色のこいのぼりには目がついていません。そこで、3~4人のグループで話しあいながら目の設計図を描き、アクリル絵の具で色を塗っていきました。「オレンジは何色混ぜるの?」「赤と白かな」と友達同士で試しながら取り組んでいます。完成したこいのぼりを園庭に泳がせると「やった〜。いいね」と大満足です。様々な新しい活動に子どもたち一人ひとりが積極的に取り組んでいるくすのき組です。